

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	鶴山公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1 名称 社団法人 津山市観光協会 代表者 会長 竹内 佑宜
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
(5) 評価対象期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 153,031人 (うち有料入園者数 140,147人) 備中櫓入館者数 55,674人
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・津山さくらまつり(4月1日～15日) 100,499人 ・邦楽と観月の夕べ 127人 ・美風盆栽展 395人 ・花火の観覧席 378人 ・秋の津山城ご当地グルメフェスティバル 5,052人

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	57,779千円(前年度61,799千円)
	公園利用料金収入	27,579千円
	指定管理料	30,200千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	59,406千円(前年度60,191千円)
	主な支出 人件費	37,960千円
	光熱水費	2,870千円
	修繕・消耗品費等	1,959千円
	委託料(施設管理)	12,740千円
	負担金・公租公課	1,950千円
	その他	1,927千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度入園者数は前年比約93%で少し減少した、特に3月の東日本大震災の影響が大きく、3月の入園者は半減した。利用収入においても約117万円の減少となった。 ・公園内は東側法面の雑木等の伐採が行われ石垣もきれいに見え、そして動物園舎の整備も進み市民からも好評を得ている。 ・今後の課題として、高齢者に対する手摺りの設置や、季節ごとの魅力づくりを行い、観光客の集客に努力する必要がある。
<p>(2) アンケート調査の概要 (実施されましたか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて約300件程度のアンケートを回収した結果、特に要望事項が目立ったのは備中櫓までの階段の手摺りの設置。 ・来園者の発地場所は関西方面が多く、団体客から個人客が増えている。 ・情報収集もインターネット情報が多くなっており、当協会のHPの充実を図っていく必要があると感じた。
<p>(3) 市の評価</p>	<p>毎年恒例の津山さくらまつりをはじめとする観光事業と連携を図りながら地域の活動を支援する事業を積極的に展開していたが、景気の低迷により、公園利用者の減少にも繋がっている。また、3月の東日本大震災により、公園利用者が伸びなかった。</p> <p>施設管理においては、東側法面等の樹木が伐採されたことにより、管理体制が変わったが柔軟に対応し、施設管理も十分であった。</p> <p>今後においては、事業の情報発信を行うとともに、利用者アンケートを継続し要望の把握に努め、利用者の要望を盛り込んだより一層意欲あるイベントを企画することと、都市公園の魅力をもっとPRして利用者の増加に繋がる事業を積極的に取り組むことを期待する。</p>